

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>						0.43			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
<b>2 耐用性・信頼性</b>					2.8	0.50			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.1	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		倉庫・床浸透性表面硬化材塗布(コンクリート直均し)、壁強化PB素地仕上t12.5+t2.5、天井デッキプレート素地仕上			4.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20			
2.4 信頼性					2.2	0.20			
1 空調・換気設備					1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20			
3 電気設備					3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					2.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.2</b>	0.50	-	-	<b>4.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			平均階高6.5m	5.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			14700N/m <sup>2</sup>	<b>5.0</b>	0.30	-	-
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.57</b>	-	-
<b>1 生物環境の保全と創出</b>				<b>2.0</b>	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			歩道側のフェンスを敷地境界線から約2m後退し、緑地帯を設けた	<b>4.0</b>	0.40	-	-
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				<b>3.0</b>	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				<b>3.0</b>	0.50	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>				-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	0.13	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>			BEIm=0.47、LED照明設備を導入。	<b>5.0</b>	0.63	-	-
<b>4 効率的運用</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-
集合住宅以外の評価				<b>3.0</b>	1.00	-	-
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-
4.1 モニタリング				-	-	-	-
4.2 運用管理体制				-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	<b>0.30</b>	-	-
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.4</b>	0.20	-	-
1.1 節水			自動水栓などに加えて、節水型便器を採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>3.7</b>	0.60	-	-
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			陶磁器質タイル、ビニル系床材、再生クラッシュラン	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			躯体+LGS+仕上材のディテール及びOAフロアを採用	5.0	0.20	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>4.3</b>	0.20	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用			TRPR法対象の対象物質を含有しない建築種別が4つ以上ある	<b>5.0</b>	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>4.0</b>	0.70	-	-
1 消火剤				-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用	4.0	1.00	-	-
3 冷媒				-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			LCCO2排出量76%	<b>3.9</b>	0.33	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			燃焼機器は採用していない	<b>5.0</b>	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>2.0</b>	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.2</b>	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			駐輪場、駐車場を確保し、出入口付近の導入路に待機場を設置している。	4.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-
2 振動				-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				<b>3.0</b>	0.40	-	-
1 風害の抑制				-	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	1.00	-	-
3.3 光害の抑制				<b>3.0</b>	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-